

第2回 熊本県災害時交通マネジメント検討会 (令和8年熊本地震)

日時：令和8年7月31日（金）

形式：書面開催

議 事 次 第

1. 被災状況について
2. 現在の取組み状況
3. 今後の対応

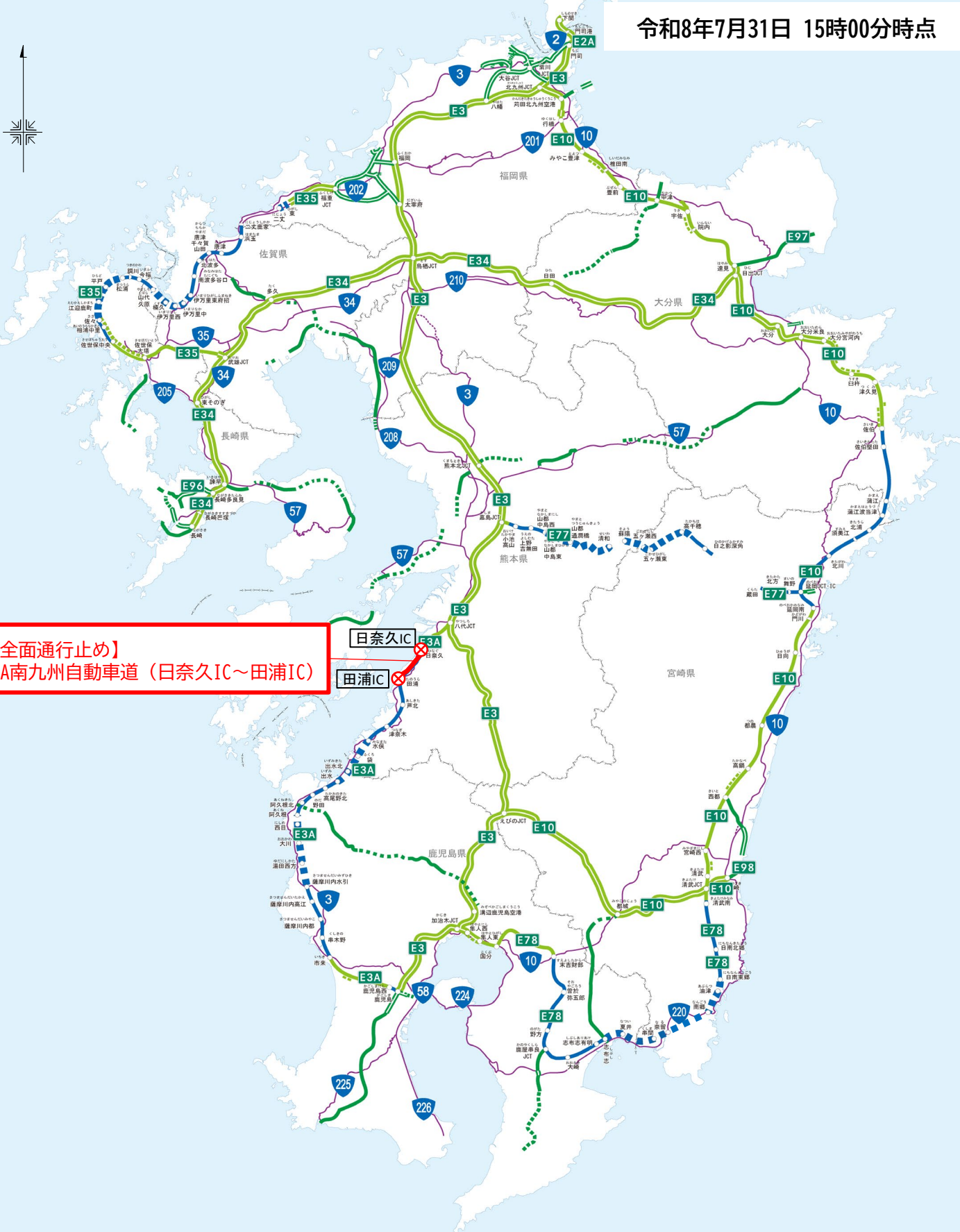
【配布資料】

- ・ 資料1 検討会メンバー
- ・ 資料2 被災状況について
- ・ 資料3 現在の取組み状況
- ・ 資料4 今後の対応

令和 8 年度 熊本県災害時交通マネジメント検討会 委員名簿

所 属			役 職	備 考
国土交通省 九州地方整備局	道路部	道路計画第一課	課長	
	道路部	道路計画第二課	課長	
	道路部	道路管理課	課長	
		熊本河川国道事務所	技術副所長	
		八代河川国道事務所	技術副所長	
熊本県	土木部道路都市局	道路整備課	課長	
		道路保全課	課長	
熊本市	都市建設局交通政策部		部長	
	都市建設局土木部		部長	
NEXCO 西日本	九州支社保全サービス事業部	保全サービス統括課	課長	
		交通計画課	課長	
	九州支社熊本高速道路事務所		副所長	
警察	熊本県警察本部交通部	交通規制課	課長	
公共交通機関	(一社) 熊本県バス協会		専務理事	
その他関係機関 (JARTIC 物流業界等)	(公財) 日本道路交通情報センター	国土交通省九州地方整備局 駐在	次長	
	国土交通省九州運輸局熊本運輸支局		首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当)	
	(公社) 熊本県トラック協会		専務理事	
有識者	熊本大学	大学院先端科学研究部	教授	
	崇城大学	総合教育センター	教授	
	熊本高等専門学校	リベラルアーツ系	准教授	

資料2



令和8年熊本地震に係る
第1回政府非常災害現地対策本部会議
第8回熊本県災害対策本部会議
次 第

日時：令和8年7月31日（金）16：00～
会場：県庁防災センター2階 201会議室
（災害対策本部会議室）

1 地震状況の説明（熊本地方気象台）

2 国・県・関係機関からの報告

（報告順）

県関係部局→国関係機関→関係機関

3 災害対策本部長（知事）コメント

4 現地対策本部長（副大臣）コメント

被害状況

【道路・橋りょう】

< 県管理道路 > ※これまで全面通行止め26カ所発生、そのうち15箇所解除

現時点の全面通行止め10路線11箇所

○三本松甲佐線（甲佐町）・今吉野甲佐線（甲佐町）・御船甲佐線（御船町）・国道219号（八代市）・国道218号（宇城市）・
八代鏡線（八代市）・鏡宮原線（八代市・氷川町）・八代不知火線（八代市）・中津道八代線（八代市）・益城矢部線（御船町）

※幹線道路上の倒壊建築物撤去に7/30着手

< 直轄国道・高速道路 >

○九州道（松橋IC～えびのIC） 全面通行止め <https://ihighway.jp/pcsites/map/?area=area09>

○南九州道（八代JCT～田浦IC） 全面通行止め

【河川・海岸】

○河川については、24河川59箇所です堤防沈下や護岸ひび割れ等を確認。引き続き点検を実施中。
（重要水防区間248箇所中211箇所調査済）

○海岸については、全83海岸で点検が完了し、9海岸で護岸等のひび割れやずれを確認。

【公園等】

○各県営都市公園

・エコパーク水俣：液状化発生。立入禁止措置、応急対策完了。・テクノ中央緑地：園路のひび割れ発生。被害箇所は立入禁止措置。

【下水道・集落排水】

< 県流域下水道 >

○八代北部浄化センター：管渠点検完了、マンホール周辺の陥没が複数発生。

< 市町下水道 > ※震度5弱以上の市町を確認

○4市町（八代市、宇土市、氷川町、御船町）：点検中。

※4市町（八代市、宇土市、氷川町、宇城市）からの支援要請を受け、7/31から職員4名をLO派遣。

国、福岡県、福岡市、北九州市、熊本市及び管路管理業協会と災害支援体制の調整中。

【港湾・空港】

○八代港：コンテナターミナルにおいて、ガントリークレーン損傷、レールの曲がり、ヤードの液状化が発生。

くまモンポートなど外港地区全体において、岸壁エプロンの亀裂、ふ頭用地沈下等が発生。

その他、大島地区臨港道路の液状化、内港地区の岸壁亀裂等が発生。

○熊本港・三角港・水俣港・田浦港・佐敷港：港湾施設の破損や臨港道路等の亀裂発生。

○市町管理港湾：鏡港、日奈久港、上天草港、天草港において、物揚場や護岸のひび割れ・沈下等が発生。

次ページへ続く

被害状況

- 港湾海岸：全23海岸中22海岸で点検が完了し、上天草港海岸で目地開きを確認。
- 八代港、三角港における支援船の受け入れについて、九州地方整備局（リエゾン2名）と連携して調整。
7/29から8/1までに、海上保安庁・海上自衛隊・国交省の巡視船等13隻を順次受け入れの上、飲料水や救援物資の提供を開始。

【砂防施設・土砂災害】

- 砂防施設（400箇所）のうち208箇所の点検が終了。現時点で被害報告なし。

【公営住宅】

- 市町村営住宅については、16市町村108団地で外壁や敷地のひび割れ、屋根瓦の破損等の被害報告あり。
- 県営住宅での被災者受入に向けて、30戸程度を準備中。市町村営住宅についても確認中。

【建築・盛土】

- 建築物応急危険度判定について、宇城市及び氷川町で実施中。その他の市町村とは協議中。
- 既存盛土の被害状況調査を実施し、6市町村全12箇所完了。（土砂の流出等なし。引続き土地の所有者等に盛土の経過観察を依頼）。
- 住宅金融支援機構が被災住宅に関する相談窓口を設置し、市町村に周知。
- 建設型応急住宅の整備に向けて、協定団体や市町村と整備に向け調整中。

【国土交通省等からの支援】

- T E C - F O R C E等の派遣：30名（県庁14名、宇城市4名、八代市4名、氷川町4名、甲佐町2名、美里町2名）
- ヘリによる被災状況調査（7/28，29，30，31，8/1予定）
- 防災用コンテナ型トイレの派遣（美里町カントリーパーク、小川町総合文化センター、氷川町伝承館、八代市鏡支所）
- 日建連をはじめ建設業界団体からの避難所への物資等支援（飲料水：宇土市、仮設簡易トイレ：氷川町25基等）
- （国研）土木研究所・国土技術政策総合研究所及び（国研）港湾空港技術研究所が支援を実施。

今後の対応

- 調査・情報収集を継続するとともに、道路啓開、河川・港湾・公園の応急対策、建築物応急危険度判定等に全力を挙げる。

令和 8 年 7 月 31 日
8 時 10 分
西日本高速道路株式会社

お 知 ら せ

令和 8 年熊本地震による E3九州自動車道 ^{かわだ}川田橋ほか 2 橋の損傷について

NEXCO 西日本九州支社(福岡市博多区、支社長:西岡 大造)が管理する E3 九州自動車道等における、令和 8 年熊本地震による橋梁の損傷状況についてお知らせします。

現在、有識者による現地確認を踏まえ、復旧工法等を検討しております。

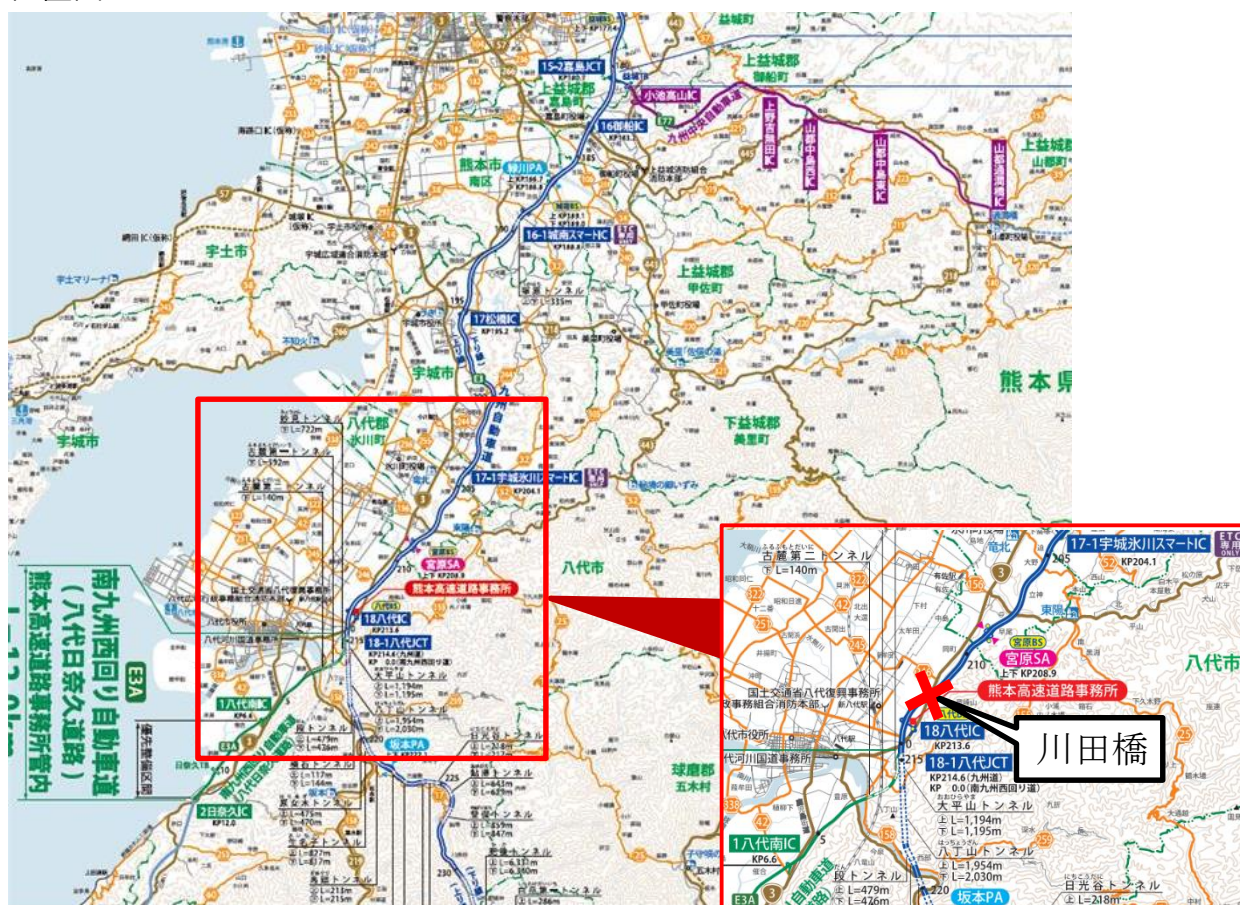
① ^{かわだ}川田橋

1. 損傷概要

- 1) 損傷内容 橋梁部ジョイントの損傷、桁ずれ、路面の段差・開き(段差約1m、開き約0.5m)、
検査路落下
- 2) 損傷箇所 E3九州自動車道 ^{うきひかわ}宇城氷川SIC～^{やつしろ}八代IC
- 3) 損傷住所 熊本県八代市川田町東

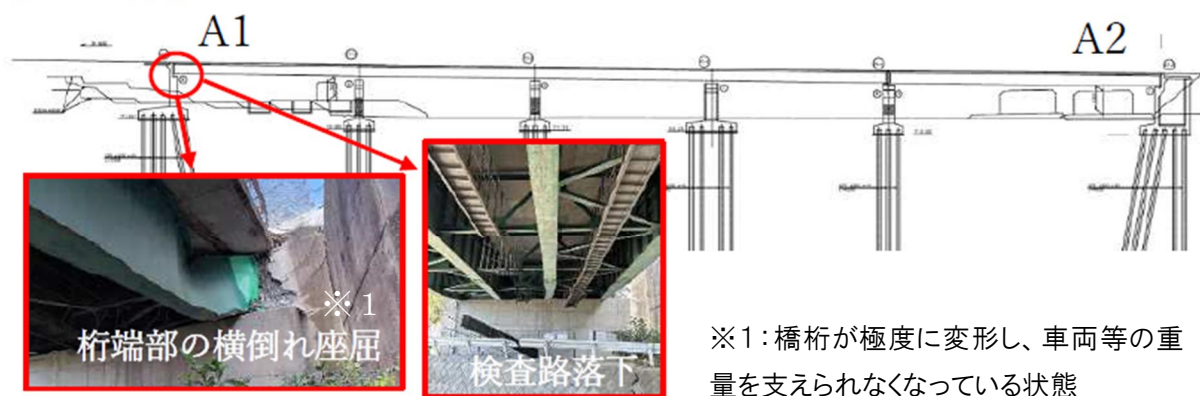


2. 位置図

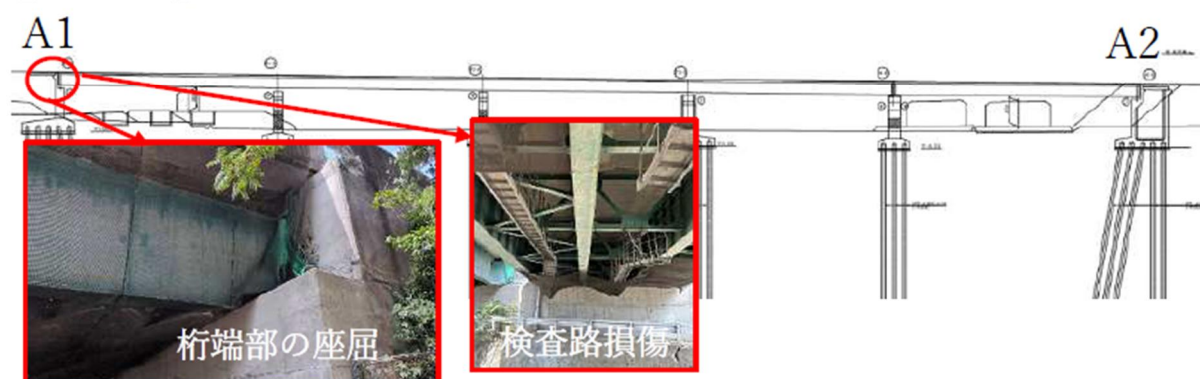


3. 主な損傷状況

【上り線】



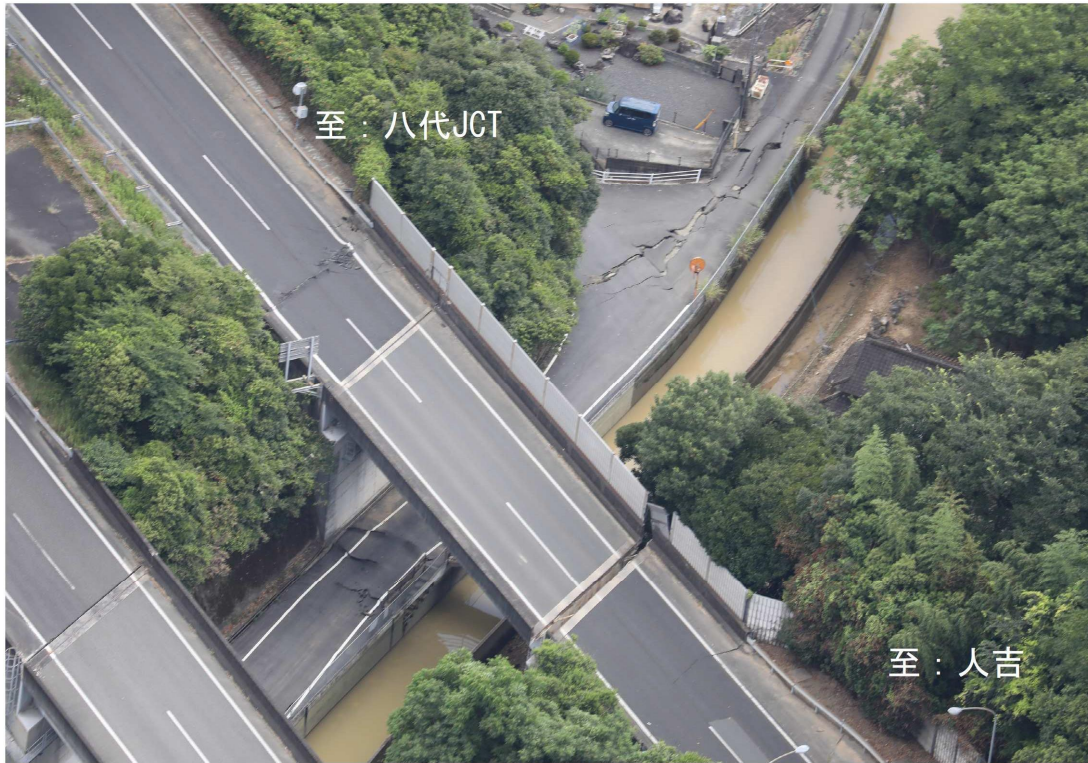
【下り線】



かたのがわ
② 片野川橋

1. 損傷概要

- 1) 損傷内容 橋梁部桁ずれ、路面の段差・開き(段差約0.5m、開き約0.5m)
- 2) 損傷箇所 E3九州自動車道 八代JCT～人吉IC
- 3) 損傷住所 熊本県八代市上片町

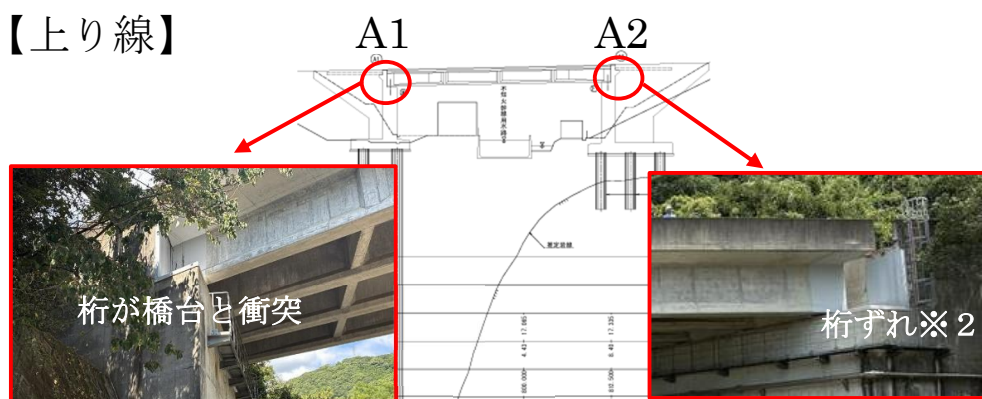


2. 位置図

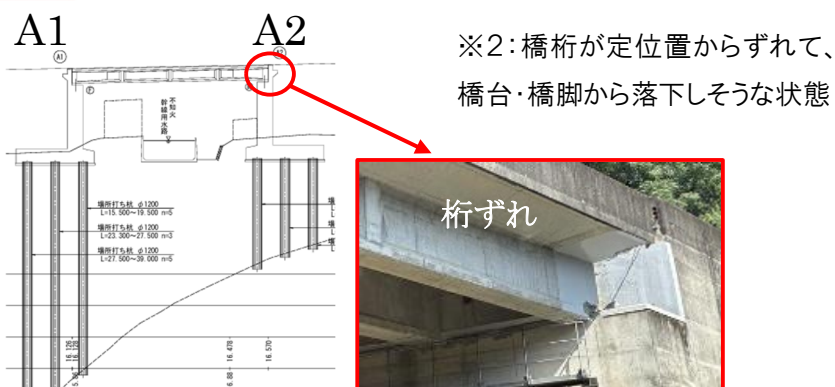


3. 主な損傷状況

【上り線】



【下り線】



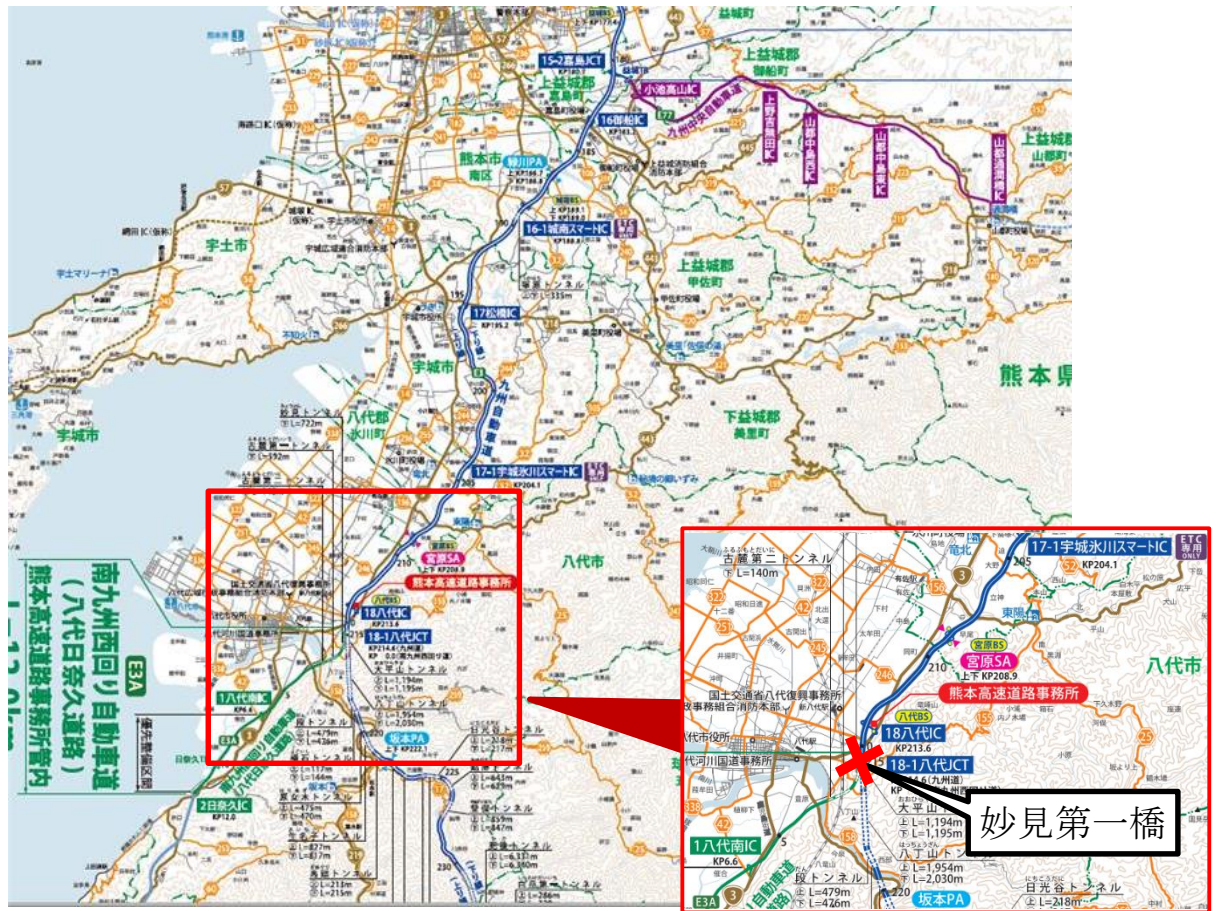
③ みょうけんだいいち 妙見第一橋

1. 損傷概要

- 1) 損傷内容 橋梁部桁ずれ、路面の段差(約1.5m)
- 2) 損傷箇所 E3A南九州自動車道 八代JCT～八代南IC
- 3) 損傷住所 熊本県八代市上片町



2. 位置図

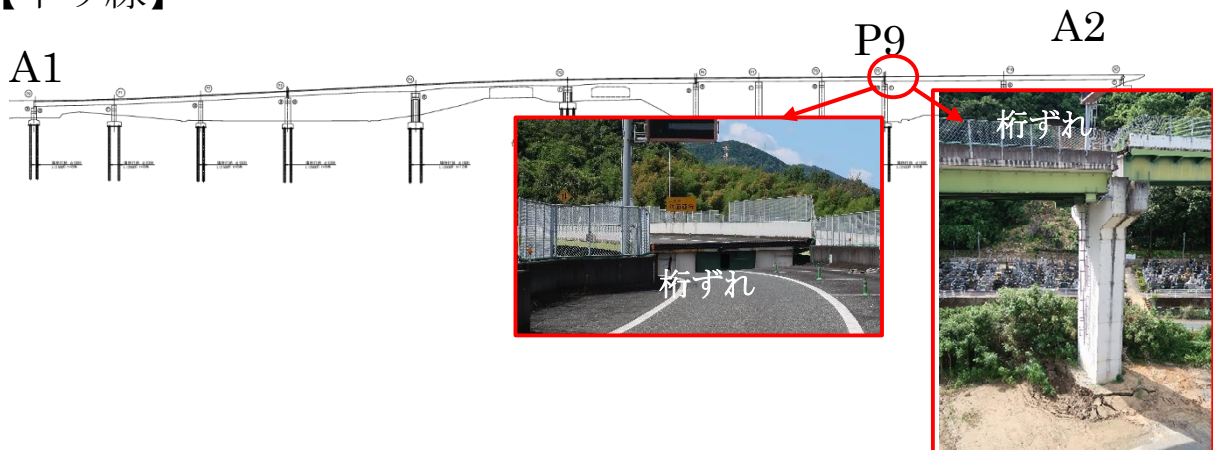


3. 主な損傷状況

【上り線】



【下り線】



令和 8 年 7 月 3 1 日
道路局 企画課
高速道路課

「令和 8 年熊本地震」に係る道路交通の広域迂回の状況について ～広域迂回のご協力ありがとうございます～

令和 8 年熊本地震の影響により、九州自動車道、南九州自動車道など通行止めが発生しております。このため、東九州道等への広域迂回をお願いしているところです。

利用者の皆様のご協力により、東九州道においては、門川南 SIC～日向 IC の交通量が大型車で約 5 倍、全車で約 2 倍増加しており、被災地周辺への交通流入の抑制に寄与しております。

慣れないルートでの長時間の走行となりますので、安全運転を心がけていただくとともに、引き続き、広域迂回へのご協力をお願いいたします。

【広域迂回の状況について（交通量の変化）】

路線名	車種	被災前 (7/27) [台/日]	迂回案内後 (7/29) [台/日]	増減
E3 九州道 (みやま柳川IC～南関IC)	全車	22,828	20,552	約1割減
	大型車	6,159	3,615	約4割減
E3 九州道 (益城熊本空港IC～嘉島IC)	全車	19,842	—※	—※
	大型車	4,605	—※	—※
E10 東九州道 (上毛SIC～中津IC)	全車	4,472	5,328	約1.2倍
	大型車	1,359	1,980	約1.5倍
E34 大分道 (日田IC～天瀬高塚IC)	全車	7,833	9,825	約1.3倍
	大型車	2,373	3,911	約1.6倍
E10 東九州道 (門川南SIC～日向IC)	全車	3,189	7,155	約2.2倍
	大型車	560	2,638	約4.7倍

※通行止め期間中

通行可能な道路は以下をご確認ください。

令和 8 年熊本地震 通れるマップ

<https://www.mlit.go.jp/road/saigai/r8kumamoto/index.html>

＜問い合わせ先＞

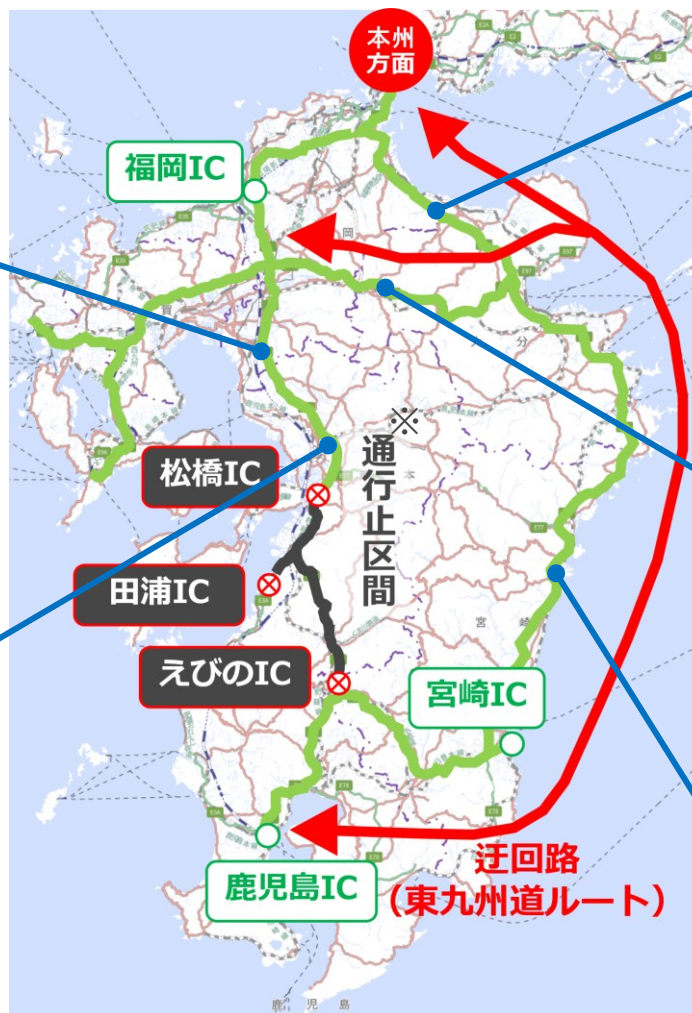
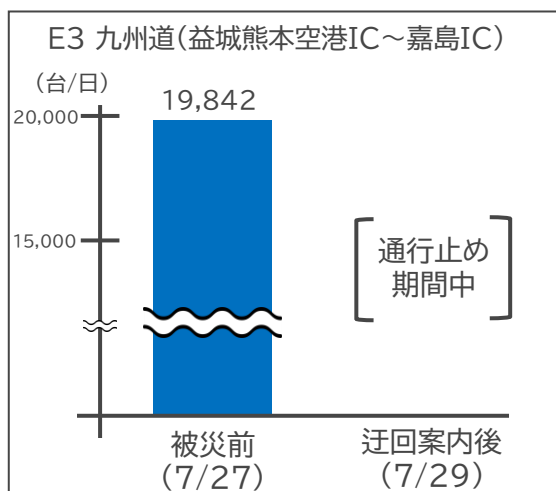
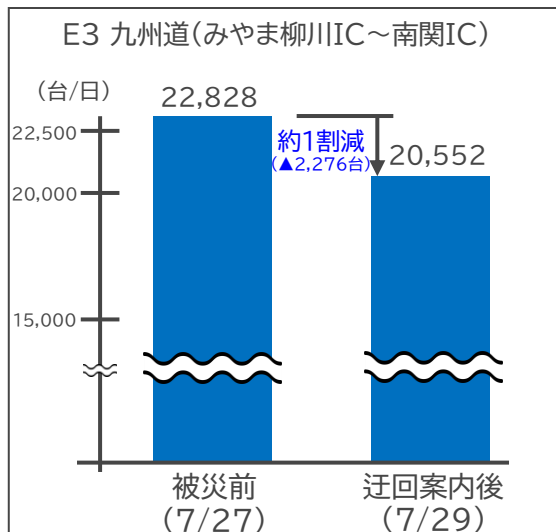
道路局企画課道路経済調査室 北城、檜垣

代表：03-5253-8111（内線 37-633、37-624） 直通：03-5253-8487

令和8年熊本地震における広域迂回の状況について

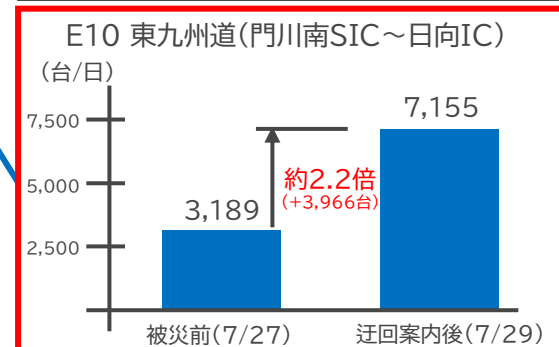
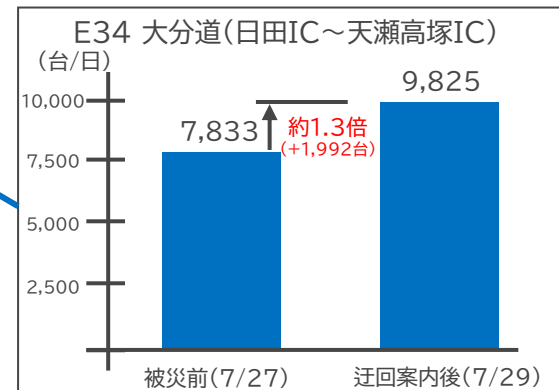
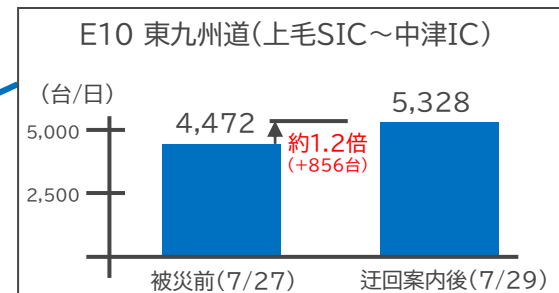
全車

- 令和8年熊本地震に伴う九州道等の通行止めにより、東九州道等への広域迂回をお願いしております。
- 皆様のご協力により、東九州道(門川南SIC～日向IC)の交通量(全車)は約2倍に増加しており、被災地周辺への交通流入の抑制に寄与しております。



交通量はトラフィックカウンターより算出

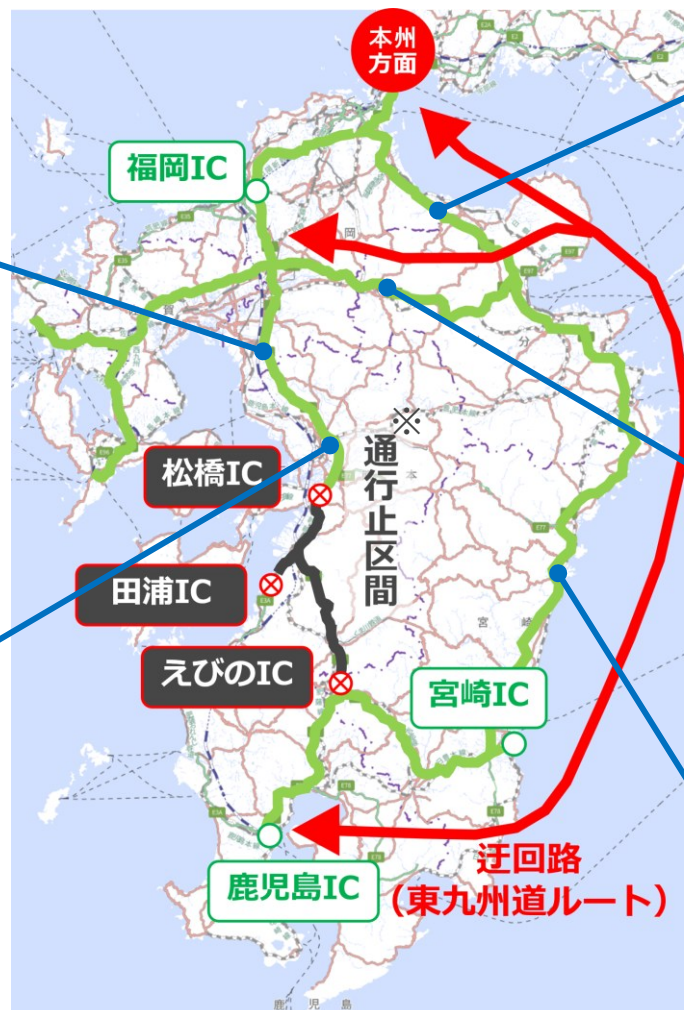
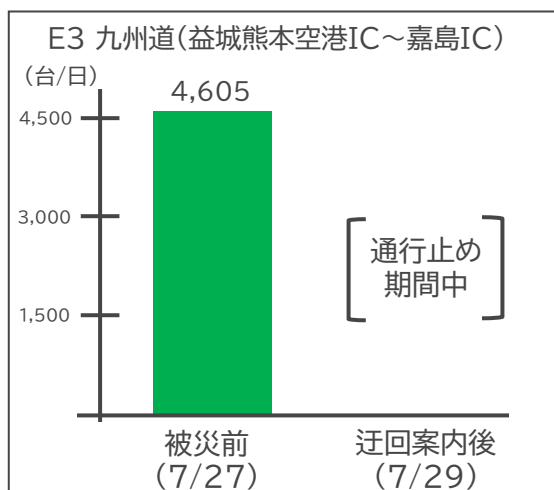
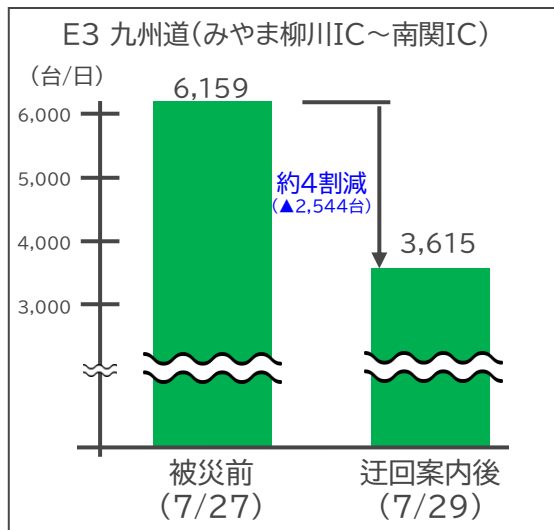
※ 令和8年7月31日時点



令和8年熊本地震における広域迂回の状況について

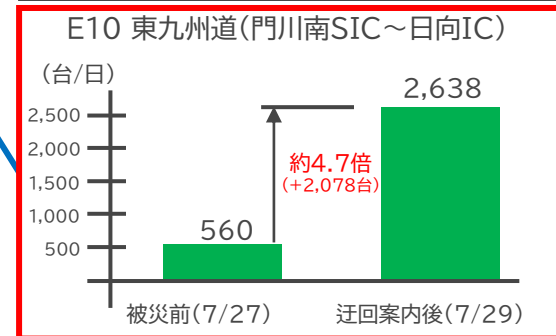
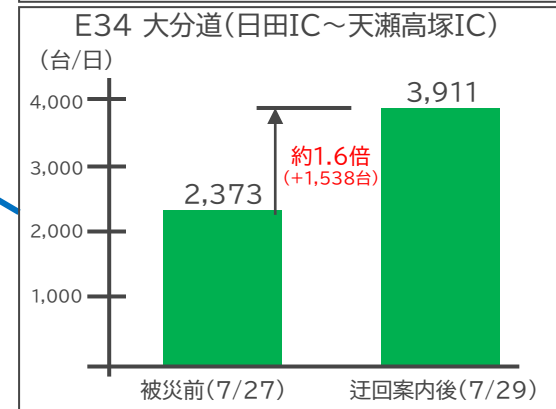
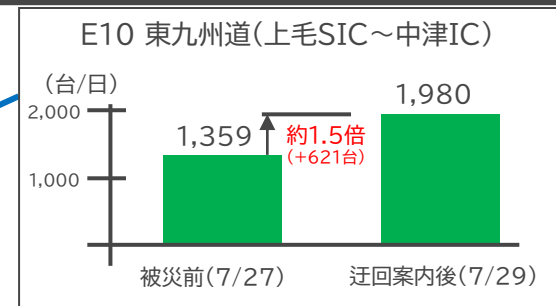
大型車

- 令和8年熊本地震に伴う九州道等の通行止めにより、東九州道等への広域迂回をお願いしております。
- 皆様のご協力により、東九州道(門川南SIC～日向IC)の交通量(大型車)は約5倍に増加しており、被災地周辺への交通流入の抑制に寄与しております。



交通量はトラフィックカウンターより算出

※ 令和8年7月31日時点



令和 8 年 7 月 31 日
 2 時 20 分
 西日本高速道路株式会社

お知らせ

令和 8 年熊本地震による通行止め・災害状況等について (第 6 報)

NEXCO 西日本九州支社(福岡市博多区、支社長:西岡 大造)が管理する E3 九州自動車道 ^{まつばせ}松橋IC～八代 IC 間において、地震による災害の影響により通行止めを実施しておりますが、7 月 31 日(金曜)中に一部区間において緊急車両の通行が可能となる見込みとなりましたのでお知らせいたします。

なお、通行可能となる時間、車種および通行方法については、別途お知らせいたします。

1. 通行止め状況

道路名	区間	方向	通行止め日時
E3 九州自動車道	^{まつばせ} 松橋IC ～ えびの IC	上下線	7 月 28 日(火曜) 16 時 27 分～
E3A 南九州自動車道 (八代日奈久道路)	^{やつしろ} 八代JCT ～ ^{ひなぐ} 日奈久IC	上下線	

2. 緊急車両通行可能となる見込み区間

道路名	区間	方向	通行可能日時
E3 九州自動車道	^{まつばせ} 松橋IC ～ ^{みやはら} 宮原SA(管理用出入口を活用)	上下線	7 月 31 日(金曜)中

3. 最新の交通情報

●アイハイウェイ(NEXCO西日本)



<https://ihighway.jp/>

・24時間、高速道路の道路交通情報をマップや文字情報で確認することができます。

・アイハイウェイ「マイルート」から、お知らせメールの受信登録をお願いします。

・お知らせメールでは、登録した「マイルート」上の通行止めの開始・解除、事故渋滞などの情報を受信することができます。



●高速道路影響情報サイト

<https://ex-ssw.com/>

・高速道路各社のホームページに掲載している重要なお知らせを確認することができます。

●日本道路交通情報センター(JARTIC)

<https://www.jartic.or.jp/>

・一般道を含めた道路交通情報を確認することができます。

令和8年熊本地震による被災状況 (NEXCO西日本)



引き続き、以下の対応を行う。

1. 幅広い情報提供

○道路規制情報、渋滞情報等について、道路情報板、各機関のHP、SNS等により、広く情報提供を実施する。

2. 関係者間の協力

○今後の交通状況に応じて、関係者間で協力し、交通混雑を緩和するための迂回路の設定など、必要な対策を検討する。